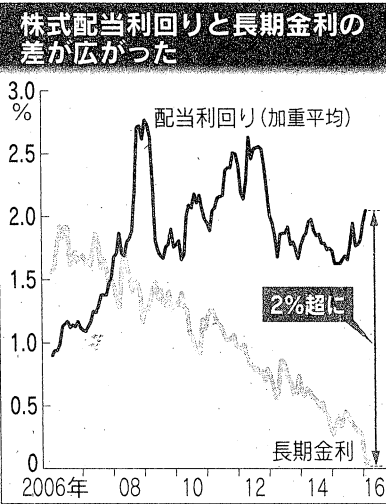


株配当利回りと長期金利の差

マイナス金利・株安で最大

株式の配当利回りと長期金利の差が広がっている。5日時点で2・03%



で最大になった。日銀がマイナス金利導入を決め、長期金利が過去最低の0・02%に低下。一方で株安が進み、配当利回りが上昇しているためだ。米独でも投資家がりスク回避の姿勢を強め、同じ現象が起きている。配当利回りは株価に対し年間どのくらいの配当金を受け取ることができするかを示す。5日の東

証1部の予想平均利回りは2・05%。配当利回りは株価が下がるか配当が増えるかと上昇する。新興国経済の減速などへの懸念から日経平均株価は昨年末比で12%下落した。一方、企業は投資家からの求めに応じ、配当の積み増しに動いている。

配当利回りが長期金利を上回るようになったのは08年のリーマン危機以降だ。主要中央銀行の量的緩和で長期金利は下がり続けている。年初からの株安で配当利回りと長期金利の差が広がりはやすくなっている。

格差

▽雇用期間や勤